

明治元年十二月二日より明治元年十二月十日まで

P8310805right

小笠原来る、飯塚来り、手製□海苔贈らる、近辺散歩、昨水車の談は空漠に属す

三日午 晴

山本姑来り、小品(蒸菓子)持来結髪いたし呉、帰途不案内の様子に付、自ら送る、小品持来る(右序を以亀井屋敷へ尋問す、山梨同行也)

一昨旅亭より太郎へ小品贈るに付、猶小品を以て謝す、再び近辺散歩

四日未 晴

草深辺散歩、亀井本日居邸引移りに付、流明き家へ富沢一同引移る

五日申 晴風

太郎を伴い亀井引移り賀に行き山本へ廻る、本日午餐あり手贈らす

六日酉 晴風

P8310805left

広沢来る、宮川清人昨着せしとて来る面す、夕前近辺出行

七日戌 雲漸薄

鶏衛へ行き□髪を頼小品持来

八日亥 晴

太郎と共に鶏衛へ行く、此日旅亭より饅頭一□並手製□糕、蕪漬(おし鮓)、卯の花、牡丹糕等贈らる

此度酬品遣し贈□□とも些品故、此に合を□し□、牡丹糕は本日おことの式例也とぞ

九日子 晴

平山を尋問す、宮原寿来り名刺を投せし歟、

十日丑 晴

*0:

*1:

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。